

令和3年度 青少年育成作文 優秀賞 ③

青少年育成推進協議会では、毎年、小中学生を対象に作文と標語を募集しています。今年度、優秀賞に輝いた作品を紹介します。



「一番の味方」
南関中学校 三年 島田 結衣

「結衣。」
祖母が私の名前を呼ぶ。私は、祖母が大好きだ。私を呼ぶ声も、やさしい顔も、料理が上手なところも、頑張り屋なところも全部全部小さい頃から大好きだ。
でも、そんな祖母が病気になる。祖母の家は南関から少し遠く、なかなか会うことができなくなかった。元気な姿し

見ていなかった私にとっては、とても衝撃が大きいくとも悲しかった。祖母が入院をした。コロナウイルスの影響や祖母の体調により、なかなか会えずとても心配だった。病院も祖母の家より遠くなり移動時間も増え、母も仕事が忙しく、家中がバタバタしてきた。そんな中、テレビでこんなニュースが流れてきた。「母の介護につかれたので殺しました。」

に、祖母が入院して大変なのは私たちも同じだ。でも、何ががうのだから、大変なのは、同じだに思わない。私が、考えたのは次の二つだ。一つ目は、助け合える人が周りにいるかだと思う。祖母の周りには、たくさん人がいて、母も交代でお見舞いに行くことができ、「助かる」と言っていた。その人の周りにも一人でも助け合える人がいたのだろうか。もし、一人だったら、やっぱり辛くてきつくて、どうしようもなくなると思う。

辛くてきつくなると「なんで?」「どうして?」「と何かにあたりたくなると思う。母はどんなに大変でも「生きる事を信じ、後悔しないようにしたい」ずっとこの言葉を言っていた。少しでも話を聞いてもらって少しでも心のモヤモヤがなくなれば考え方は違っていたのではないかと思う。

母の、何があっても頑張っている姿や、自分より祖母を優先している姿、家族の絆の大切さがあらためて分かった。
祖母は、回復して退院した。安心と嬉しさがこみあげてきた。それでも母は、まだ不安なところがある。毎週、祖母の家へ行っている。祖母はいつも、「ありがとうね。顔みるだけで元気がでるよ。」と笑顔で言っている。私は、この言葉を聞いた時、祖母を信じぬき、頑張っていた母がとてもかっことよく思えた。信じ、頑張ればその先にはいいことがおきるのではないかと思った。

「思い出いっぱい」

田植え
南関第三小学校 五年 福山 英輝



学校の総合的な学習の時間で田植えがありました。中には経験者の人もいました。ひさびさに田んぼに入ったら足もとがどろどろしてちよつといやな感じだったけど、どんだん米のなえを植えていくうちに楽しくなりました。

お米のなえを植える時は、なえを五本ぐらいちよつと植えていきます。田植えの前、相谷の地いさのみなさんが印をつけてくださってスムーズ

ズに進めることができました。地いきのみなさんが手伝ってくださって、とても助かりました。その後、田植えをやっていると、田んぼの中には、ヒルやカエル、カエルの卵、タニシがいました。ぼくたちは、田んぼのまん中部分だけ手で植えてまわりは、田植え機でやりました。ぼくたちも田植え機に乗ってハンドルをまわす人とアクセルをふむ人に分けてお米のなえを植えました。とてもむずかしくてハンドルのちよつとだけうごかしてもすぐにかたむくのでちよつとが大変でした。その時、相谷の方々は、こんなにむずかしい仕事をたくさんやられていて、すごいなあと思いました。そのとちゅうで、ぼく

は、南関町広報の方からインタビューをうけました。いろいろな事を聞かれてきんちようしたけど全部答えることができなくてよかったです。そして、ようやく田植えが終わりました。ぼくは、田植えをして相谷の地いきのみなさんのおかげで田植えができたし、お米も生産者さんが、がお米を食べて本当のありがたみが知れたしお米の一つぶ一つぶがこんなに大切なんだと心から思いました。



▼年末年始のお知らせ

●出生・死亡等の届出は現役場庁舎で受け付けます。

●防災行政無線放送
1月1日(土)から3日(月)までは、放送時間・内容を変更します。

【放送時間】
1日1回
(午前10時からのみ)

【放送内容】
新年のあいさつ(町長・議会議員)、新春謡曲、休日在宅医のお知らせ
※緊急の場合の放送は、随時行います。

●南関御茶屋跡の休館日
12月28日(火)から1月5日(水)
6日(木)からは平常どおり開館します。
※今年随時開館は行いません。

公共施設のお休み

施設名	お休み
役場 保健センター	12/29(水)~1/3(月)
南町民センター 交流センター	うから館
図書館	12/27(月)~1/4(火)
B&G海洋センター	12/27(月)~1/5(水)
ふれあい広場 農業就業改善センター 農村広場	12/29(水)~1/4(火)